2025 年度（第 47 期）

事 業 報 告 書

自:2025 年（令和 7 年）4 月 1 日
至:2026 年（令和 8 年）3 月 31 日

〒621-0027
京都府亀岡市曽我部町犬飼未ケ谷 18-2

公益財団法人　関西盲導犬協会

会長　平芳　一法

公益財団法人 関西盲導犬協会　２０２５年度事業報告書
（２０２５年４月１日－２０２６年３月３１日）

１．公益事業部門

１－１．盲導犬および視覚障がいに関する事業

（１）盲導犬貸与計画

①貸与頭数

２０２５年度の盲導犬の貸与頭数・貸与者は以下のとおり。

	番号	代替 新規	性別	都道府県	犬名	犬種	性別	貸与日	助成金
1	7470	代替	女（60 代）	滋賀県	ﾘｰﾎﾞ	LR	ﾒｽ	5 月 24 日	滋賀県
2	7471	代替	女（50 代）	大分県	ｵﾘｰ	LR	ｵｽ	6 月 29 日	大分盲導犬協会
3	7472	代替	女（70 代）	岡山県	ﾋﾞｵﾚ	LR	ﾒｽ	10 月 31 日	小山基金・施設連合会
4	7473	代替	女（70 代）	群馬県	ｿﾚｲﾕ	LR	ﾒｽ	12 月 3 日	群馬県
5	7474	代替	女（40 代）	京都府	ｱｰﾛﾝ	LR	ｵｽ	12 月 20 日	京都府
6	7475	新規	男（30 代）	岡山県	ｸﾗｰｸ	LR	ｵｽ	3 月 6 日	施設連合会
7	7476	新規	男（60 代）	高知県	ｽﾃｨｰﾌﾞ	LR	ｵｽ	3 月 13 日	高知県身体障害者連合会
8	7477	代替	男（60 代）	兵庫県	ﾕﾉ	LR	ｵｽ	3 月 25 日	兵庫県

（犬種：LR：ラブラドール、GR：ゴールデン、F1：ラブ×ゴールデン）

②盲導犬実働数・ユーザー人数

２０２５年度末の盲導犬実働数・ユーザー数は以下のとおり。

夫婦で１頭の盲導犬を使用する「タンデム」ユニットが現在１組。

	盲導犬実働数(頭)	盲導犬ユーザー数(人)
２０２５年度	６１（－１）	６２（－２）

③新規盲導犬ユーザー獲得の取り組み（新規希望者への働きかけ）

体験歩行会等の「イベント」を通しての新規希望者の開拓を行うとともに、個別の問い合わせ者には積極的に体験歩行を実施した。その結果、面接などその後の手続きを経て 2 名の新規希望者を獲得できた。

（２）盲導犬ユーザーへのケア（フォローアップ）

①フォローアップの実施

フォローアップ体制の再編作業を継続しつつ、盲導犬ユーザーへの下記フォローアップを実施した。訪問によるフォローアップと電話・メールによる状況確認および相談フォローアップは以下のとおり。

１．訪問フォローアップ		１０２件（前年度１５１件）
内訳	定期	５０件
	共同訓練直後	６件
	ファミリアリゼーション	１１件
	犬の健康管理（高齢犬の健康診断を含む）	７件
	犬の問題行動	１３件
	その他	１５件
２．電話（メール）フォローアップ		８３件

②盲導犬医療費の助成

盲導犬ユーザーに対して、盲導犬飼養に係る予防的医療費（狂犬病および混合ワクチン）およびフィラリア予防薬の購入費助成を継続した。

③高齢盲導犬へのケア

引退を間近に控えた９歳齢ならびに１０歳齢の盲導犬に対する健康診断を当協会負担で継続実施し、健康状態を把握した。

（３）犬の育成・ケア

①繁殖・パピー・訓練犬の状況

・出産頭数：５３頭

・繁殖犬数：２３頭（２０２６年３月末現在。オス１０頭／メス１３頭）

・パピーウォーキング（巡回指導１８８回・パピースクール３９回）

・訓練犬：のべ５８頭（前年度からの在籍犬１８頭、２０２５年度の新入犬４０頭）

②国内外の協力先との連携

・ＡＧＢＮ（Asian Guide Dogs Breeding Network）の総会ならびに実務者会議に出席した。（２０２５年6月・１０月）

・国際盲導犬連盟（IGDF）会長の来訪に応対した。（２０２６年2月）

③凍結精子の利用

凍結精子による人工授精は行わず、その作成のみ実施した。

④リタイア犬への医療費補助

予防的医療費、療法食、葬儀費への助成を行った。

⑤獣医師会との連携

公益社団法人京都市獣医師会による協会所有犬に対する定期健診・検査を継続した（年１２回）。

（４）職員の採用その他

訓練部に２名の正規職員を採用した。

（５）訓練部職員のスキルアップ

①認定ＮＰＯ法人全国盲導犬施設連合会主催の研修会

同連合会が主催する以下のセミナーに、各テーマに関わる職員が参加した。

・相互研修事業「補助犬団体の動物福祉」（２０２５年８月・オンライン開催）

・相互研修事業「広報・事務担当者研修会」（２０２５年９月・オンライン開催）

・相互研修事業「パピープログラム」（２０２５年９月・於日本ライトハウス盲導犬訓練所）

・相互研修事業「訓練研修」（２０２５年１０月・於九州盲導犬協会）

・相互研修事業「盲導犬歩行指導研修」（２０２５年１０月・オンライン開催）

②訓練担当者の資格取得プログラム

訓練担当職員１名が、全国盲導犬施設連合会による盲導犬訓練士資格認定審査を受け、合格した（２０２６年４月１日発効）。

③国内外育成施設への職員派遣

盲導犬訓練の見学・意見交換を目的に、訓練担当職員を公益財団法人東日本盲導犬協会に派遣した。（２０２５年１０月）

（６）盲導犬貸与委員会

公正な盲導犬貸与を実施することを目的に、外部委員を含めた「盲導犬貸与委員会」の開催を継続した。（計８回開催）

（７）フレンドドッグ事業

・フレンドドッグ活動に協力してくださるボランティアに対し「グッドシチズンテスト」を実施した。現在、同活動に２３人２２頭が登録している。

・フレンドドッグ活動を高齢者施設３施設、視覚障害者施設１施設で計２２回、のべ１０９人の登録ボランティアの協力により実施した。

・「亀岡市盲導犬ふれあい事業」として、亀岡市の委託により、亀岡市立保育所・幼稚園・こども園８施設に対し、各１回ずつ、フレンドドッグ活動を行った。※積雪により１施設は中止

（8）調査研究

・京都大学大学院文学研究科と「木香テラスの有用性」に関する共同研究を継続した。

１－２．相談事業

（1）苦情ならびに相談に関する対応

２０２５年度に受けた苦情ならびに相談の状況は、総数３５件であった。盲導犬ユーザーのうけいれについては、地域の視覚障がい者関係団体や行政相談窓口の協力を得ながら解決にあたった。

①入店ならびに利用拒否についての相談：１２件

・飲食店：３件（解決済）
・宿泊施設：２件（解決済）
・観光施設：２件（解決済）
・公共施設：２件（１件は解決済、１件はユーザーが辞退）
・商業施設：１件（解決済）

その他、拒否ではないが社員の不適切な対応についての相談が２件あった。

②事業者からの相談：２件

・不動産会社：１件（受け入れ表示について情報提供）
・障がい者団体：１件（施設受け入れについて情報提供）

③ユーザーの盲導犬への不適切な扱いに関する相談：１９件

・暑さのなかでの歩行：１２件
（暑いなかで盲導犬を使用することについての盲導犬協会の見解を質すもの３件、他団体による暑いなかでの犬を伴った街頭募金活動について１件を含む）
・盲導犬との歩行・盲導犬の管理について：６件（うち２件は状況を確認しフォローアップを実施。４件は他協会ユーザー）
・ＳＮＳで見た虐待行為についての問い合わせ：１件

④飼育ボランティアの対応についての相談：２件

・リタイア犬ボランティア：１件（他協会ボランティア）
・パピーウォーカー：１件

（2）他機関との連携

盲導犬ユーザーの盲導犬の扱いに関する苦情について、全国盲導犬施設連合会と連携し対応した。

１－３．啓発普及事業

（1）啓発普及活動

①視覚障がい者を対象とした啓発活動

以下の団体からの依頼を受けて、体験歩行会を実施した他、個人からの依頼には随時対応した。

・宇治市視覚障害者協会「盲導犬体験歩行会」（２０２５年４月２３日）
・福井県視覚障がい者支援ネットワーク羽二重ねっと「見えない見えにくい人の暮らしを知る日２０２５」（２０２５年８月３日）
・兵庫県視覚障害者福祉協会「兵庫県視覚障害者福祉まつり」（２０２５年１２月５日）
・綾部市視覚障害者協会「あやべ あいふれいる」（２０２５年１２月１３日）
・亀岡市視覚障害者協会「ふれあいの集い」（２０２６年１月８日）
・特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会「第２１回ブラサカキッズキャンプ２０２６ｉｎ関西」（２０２６年３月１４日）

②定例見学会の実施ならびに団体等の見学受入れ

・当協会での見学会：１１回（参加者２１８名）
・団体見学の受入れ：２３件４６８名

③ユーザー主体の啓発普及活動の実施

学校・企業・行政等からの講演依頼に対しては、積極的に講師としてユーザーに依頼した。詳細は以下のとおり。※［　］内は、ユーザーの講演件数

・学校での講演活動：３５[２４]件

・イベントならびに社会奉仕団体等の例会、企業研修等での講演：２７[7]件

④機関紙「ハーネス通信」の発行

例年通り、４・７・１０・１月の計４回、それぞれ墨字版・点字版・ＣＤ版を発行した。

⑤ホームページや各種ソーシャルネットワーク（ＳＮＳ）を活用した情報発信

ホームページならびに各種ＳＮＳを活用し、随時、情報発信を行なった。

⑥行政ならびに他機関との連携

・視覚相談会：６回（京都府家庭支援総合センター主催／舞鶴市・木津川市・伊根町・南丹市・大山崎町・久御山町）

（２）協会主催・共催イベント

①協会主催イベント

・第２回となる「盲導犬Love’s フェスタ２０２５」をサンガスタジアムbyKYOCERAで開催した。（２０２５年5月１８日）

・「ボランティアズデー」を保津川水辺公園で開催した。（２０２５年１１月３日）

②京都府の視覚障害者団体との共催イベント

共催イベントの実行委員会に職員を派遣し、「あい・らぶ・ふぇあ（２０２６年2月２８日、3月１日イオンモール京都）」、「白杖安全デー（２０２６年１月１７日、２月７日）」の開催に協力した。

２．管理部門

（１）収入と支出に関する取り組み

①各種ＳＮＳ・街頭募金活動等を通し、広く支援・寄付を呼びかけたほか、今年度もオリジナルカレンダー、小冊子を作成・配布するなど、支援者への働きかけを継続した。

②過去の実績に基づいた街頭募金活動を計画・実施し、募金収入の増加を図った。

③協会所有犬への医療費支援を目的としたクラウドファンディングを実施した。

（支援金計１１，０６８，０００円）

④亀岡市と協同し、本年度も「ふるさと納税」を活用した支援を募った。

⑤現状報告

a. 賛助会員

総賛助会員数：１，４４５件（前年度：１，４４４件）

正会員：１，０９９件（前年度：１，１３７件）

後援会員：３８件（前年度：３６件）

法人会員：３７件　（前年度：３９件）

マンスリー会員：２６８件（前年度：２２８件）

青少年会員：3件（前年度：4件）

b. 募金箱

・設置件数：１，４４１件（前年度：１，６４９件）

・回収金額：９，９５３，９１７円（前年度実績：９，６２３，０７５円）

c. 街頭募金

・実施回数：１１１（前年度実績８６回）

・募金金額合計：９，１２０，９８５円（前年度実績８，６６１，３３６円）

d. 募金型自動販売機

・設置台数：８１台（前年度９１台）

（2）事務職員の採用

正規職員を募集し、２名を採用した。（それぞれ２０２５年４月１日・５月７日入職）

（3）当協会運営体制の充実をはかるための取り組み

毎月第三日曜日午前、オンラインにて月次決算や公益事業の進捗状況の報告、その他様々な課題について、役員が自由に議論できる「懇話会」を実施し、運営方針の共有を図った。（計９回）

３．施設整備ならびに備品購入等

・訓練用車両１台の寄贈（遺贈）を受けた。

・職員・犬の安全を確保するため、防犯カメラを設置した。

以上